

つくみイルカ島だより

2024年
5月号

5月3日～5月6日
イルカ島フエスティバル
開催！🐬



イルカの口内チェックとは

つくみイルカ島では、水族館ではなかなか見られない光景を見ることが出来ます。

それは、トレーナーがイルカに餌を与える前に必ず行う『口内チェック』です。

『口内チェック』は、イルカの口の中に手を入れて行いますが、なぜトレーナーはイルカの口の中に手を入れているのでしょうか。

つくみイルカ島は、水族館のプールとは違い、自然の海を仕切って生簀の中でイルカを飼育しています。そのため、生簀内に入ってくる魚や流れてきた海藻など、様々なものをイルカたちが食べてしまうことがあります。

これだけならまだ良いのですが、厄介なのは『人間が捨てたゴミ』です。

つくみイルカ島に流れ着く海洋ゴミは、ペットボトルやビニール、発泡スチロールなど様々です。プラスチックゴミには、マイクroppラスチックと呼ばれる五ミリメートル以下の細かなものまであります。このようなものをイルカが誤って食べてしまうと、消化不良などを起こし、最悪の場合はイルカが命を落としてしまう事もあります。そこで、『口内チェック』を行い、口の中に手を入れてゴミを回収しているのです。

一見、不思議に思うこの『口内

チェック』の光景ですが、イルカたちの命を守るうえで、とても大事な行為なのです。

つくみイルカ島では、オープン以来、毎朝欠かさず海洋ゴミ拾いを行っています。当初はイルカのために行ってきたこの清掃ですが、今ではSDGsのひとつである「海の豊かさを守ろう」への取り組みとして、つくみイルカ島の重要な活動となっています。この活動を通し、綺麗な津久見の海を未来へと残せるよう頑張っています。

(横山)



横山 愛美
よこやま あいみ

生年月日：1999年10月22日

出身地：奈良県

趣味：温泉

ひとこと：つくみイルカ島で待っています！
遊びに来てください！

今月のスタッフ紹介